

夢咲かせよう 立志の丘で

学校通信

平成27年3月6日
No.40

明日は卒業式

明日3月7日(土)は、9年間の義務教育を終えて、最後の卒業式となります。3年前の入学式で、どんな式辞を述べたのか振り返ってみます。

平成24年 入学式 式辞

平成24年度は春一番の突風が全国を吹き暴れ、昨年の東日本大震災を思わせる停電のスタートとなりました。(略)

77名の新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。皆さんは、西仙北東中学校と西仙北西中学校が統合してできた西仙北中学校の第三期生として本校に入学することとなりました。新しい学校が開校したそのときの一年生として生涯、人生の中で語られる一年生になります。

新しい学校ですので、何もかもが皆さんと先生方、そしてご家庭、地域の方々と一緒に「全員の手による新生西仙北中学校の創造～伝統の基盤づくり」を合い言葉に、一つ一つつくっていくこととなります。この合い言葉を実現するために三つのこととお話しします。

まず、学校生活の柱となる校訓を「立志 善心 叡智」としました。意味は次のとおりです。(校訓説明略)

次に、皆さんは四つの小学校から来ました。私は、その四つの小学校で皆さんがどれだけ立派であるかを知っています。なぜなら、閉校記念式典、卒業式などを通して皆さんが全力で呼びかけたり、中には踊ったりして、母校に寄せる熱い思いを肌で感じたからです。そして、新入生一日体験では、皆さんの中にきらりと輝くすばらしい考えをもっている生徒がいる、ということも知りました。私は、みなさんがこの新生西仙北中学校に本当にふさわしい新入生であることを誇りに思っていますし、皆さんに期待する気持ちもとても大きいです。

最後に、学習・委員会活動・部活動と、そして新しい友達、新しい先生の「『中学校』という新しい世界」が皆さんを迎えています。どうか、それぞれの小学校で培ったすばらしい力をこの学び舎で思い残すことなく発揮し、一緒に西仙北中学校を創っていきましょう。私たちはいつも皆さんと一緒に歩んでいきたいと思っています。(略)

77名の卒業生は、小学校6年間で培った力を中学校で発揮し、さらに新しい学校の担い手として充実した日々の生活を過ごしました。新しい学校に新しい息吹を吹き込み、一人一人が校訓の「立志 善心 叡智」の実現に努力しました。

新天地へ旅立つ皆さんとお別れするのは寂しい限りですが、皆さんと出会えたことは心からうれしく、また感謝の気持ちでいっぱいです。新たな

世界に行っても自分らしさを失わず、いつもふるさと西仙を思い、自分の人生を切り開いていってほしいと思います。

3年生激励会

2月25日(水)の6校時に、体育館で全校生徒による「3年生激励会」が行われました。1・2年生の生徒会執行部を中心に、3年生に内容を気付かれないようにして準備を進めてきたものです。執行部の呼びかけに呼応して、1・2年の全生徒が、色紙を書いたりキャプテンはダンスの練習をしたりと取り組んできました。会の次第は次のとおりです。

～3年生入場～

- | | |
|------------------------------------|----------|
| 1 はじめの言葉 | 2 O×クイズ |
| 3 ムービー | 4 生徒会長の話 |
| 5 校長先生のお話(教頭が代理で) | |
| 6 プレゼント贈呈(卒業記念タオル、各部後輩たちから先輩たちへ色紙) | |
| 7 くす玉 | 8 終わりの言葉 |

～3年生退場～

ゲームで盛り上がったたり、ムービーで3年生のこれまでを振り返ってシーンとしたり、色紙を渡す場面では各部の後輩から感謝の言葉、先輩から激励の言葉が贈られたり、サプライズのダンスや出し物があったりと、とても楽しく心温まる時間となりました。最後には、3年生全員により「くす玉」が割られ、3年生を拍手で送りました。

すばらしい会を企画し準備してくれた生徒たちに感謝したいです。

また、3年生には、未来に向かって頑張ってもらいたいと思います。



図書委員会による集会

2月27日(金)の始業前に、図書委員会による次の内容で全校集会がありました。

- 1 各学年図書委員が推薦する本(ブックトーク)
- 2 本校の読書ベスト5
- 3 図書貸し出し数ベスト3(各学年)の表彰

1については、1年生から3年生までの推薦ブ

ックトークがありました。

◇1年生 菅原翔哉さん

1年生におすすめする本は「プレッシャーに負けない」です。

この話は、好きじゃない囲碁を、お父さんにむりやり囲碁教室に連れて行かれプロになった人の物語です。主人公の梅沢由香里さんは、子どもの頃から負けず嫌いで、囲碁の試合で負けたら、悔しくて、その悔しさが次の試合で「次こそは勝ちたい」、勝てば「もっと勝ちたい!」と思ったそうです。その気持ちが囲碁に向かわせたそうです。負けた原因から、何が駄目だったのかを考え、自分の弱点を知ること、力をつけることにつながると思います。是非、読んでみてください。

◇2年生 高橋みらのさん

2年生におすすめしたい本は「学年でピリのギャルが1年で偏差値を40上げて、慶応大学に現役合格した話」です。この物語は「絶対無理」に挑んだ女子高校生のお話です。周囲が「おまえにできるわけがない」などと馬鹿にされながら一人の教師とともに慶応大学への道へ少しずつ進んでいきます。その中で、暗記のコツや授業中のノートの取り方などという学習方法も取り上げられています。その他にも読んですぐに自分に取り入れることができるものがたくさんあります。

まだ自分のよい勉強方法が見つからない、という人や、見たことはあるけど読んだことがない人は読んでみてください。

◇2年生 伊藤えみりさん

3年生におすすめしたい本は、「高校受験にすぐにできる40のこと」です。この本には、高校受験前にすぐにできて、しかも役立つものがたくさんあります。その中からみなさんに実践してほしいものを紹介します。

一つ目は「計算するとき左手を添える」です。計算間違いをする人とならない人の差は、左手の位置にあります。計算間違いをする人は左手が机の下にあり、計算間違いをしない人の左手は机の上に乗っています。このような少しいずれだけでケアレスミスにつながってしまいます。この他にも「たまに『たくさん』より『毎日少しずつ』やろう」や「睡眠時間を削らない」など、すぐにできるものがたくさん書かれています。是非読んでください。

2 本校の読書ベスト5は、次のとおりです。

- 1位 AB型自分の説明書
- 2位 黄色い本
- 3位 熱中! ソフトテニス部
- 4位 リアル鬼ごっこ
- 5位 A型自分の説明書

3 図書貸し出し数ベスト3は、1年生のベスト1の生徒が51冊

も読んでいて、感想発表では「本も好きですが、図書室も好きです。」と述べてくれました。2年生、3年生も、事前に順位を知らされていなかった



ので、ベスト3に選抜された生徒は驚きと喜びの表情をスピーチで見せてくれました。

朝の集会で時間が短い割には、充実した内容でした。図書委員会のみなさん、集会を企画してくれてありがとうございました。

卒業記念品の時計が設置されました

平成26年度卒業生(第3期生)の卒業記念品の時計(外用)が、2月27日(金)に設置されました。

遠くからでも時間がわかり、西仙北中学校のシンボルになります。

卒業生のみなさん、ありがとうございます。



ぞうきんをいただきました

3月4日(水)の昼に西仙北地区老人クラブ女性部(渡辺睦子会長)の代表お二人が来校し、ぞうきんを80枚贈呈していただきました。毎年、ぞうきんをいただいております。学校ではこれを最大限利用しています。

新入生に一枚ずつ配りたいと思います。

本校は、一昨年ワックスを廊下等にかけておりますが、常に水ふきで、生徒が一生懸命に掃除をします。冬の水は冷たいですが、校長室掃除の生徒は2名で、すばやく行ってくれます。水拭き、から拭きに利用いたします。

老人クラブの皆さん、本当にありがとうございました。



◎ 第20回 Jr.ユースフットサル大会 準優勝

2月21日に開催された「第20回 Jr.ユースフットサル大会」で本校の2年生 鎌田羅衣さんが所属している神岡 FC ジュニアユースが準優勝の栄誉に輝きました。初戦から3回戦まで勝ち上がり、決勝は大曲中学校サッカー一部との対戦で惜敗したそうです。鎌田さんおめでとうございます。

卒業生の保護者のみなさんへ

今回の号まで、学校通信をお読みいただき、誠にありがとうございました。卒業生の保護者の皆様には、これが最後の学校通信となります。これ以降の学校通信につきましては、「4月1日号地域ダイジェスト版」に掲載したいと思います。

学校評価で、学校通信を読んでいます、ブログを毎日見ている、というみなさんのお言葉が、明日への意欲につながってきました。これからも、学校通信やブログ等で不具合や「?」がありましたら、どんなことでもかまいませんので、ご一報いただければ幸いです。

重ねて、3年間ありがとうございました。

校長 佐藤 心一